

—2022年度第2回（第25回）建設技術講演会—

共催：(一財)茨城県建設技術管理センター
(公社)土木学会 関東支部 茨城会

(一財)茨城県建設技術管理センターおよび(公社)土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたいと、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会CPD単位をお渡ししております。この度は下に示す2名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：2022年11月21日(月) 受付13:00～ 講演14:00～16:30

○場 所：茨城県建設技術研修センター 3階大ホール

○プログラム：

13:45 開会

13:45 主催者挨拶

14:00～15:10 (質疑時間を含む)

〈講演1〉地震時における建物健全性評価に関する近年の動向

〈講師〉茨城大学大学院 理工学研究科 都市システム工学領域
准教授 肥田 剛典 氏

〈概要〉地震時における建物の損傷の有無を評価するために、強震記録を活用して構造的健全性を評価するための「構造ヘルスマモニタリング」が提案されている。しかし、建築構造物の場合には、構造的健全性だけでなく建物としての機能が保たれ、地震後も継続使用できるか否かを確認することも極めて重要である。本講演では、建物の構造・機能両側面の健全性を評価するための各種の最新技術について俯瞰し、今後の展望について考える。

15:10～15:20 休憩

15:20～16:30 (質疑時間を含む)

〈講演2〉「建設用3Dプリンタ元年—ゼネコンにおける研究開発と実用化の取組み—」

〈講師〉清水建設株式会社 技術研究所 社会システム技術センター
インフラ技術グループ 小倉 大季 氏

〈概要〉新たな建設生産方式として注目される建設3Dプリンタ。セメント系材料をノズルから吐出して、型枠を使わずに立体形状を造形できる本技術は、建設の生産性を上げるだけでなく、意匠の自由度向上や構造最適化を実現できる技術としても期待されている。

本発表では、当社が開発した技術の概要を述べるとともに、実案件での適用事例と未来像について紹介する。

16:30 閉会

○参加費：無料 (事前登録制 連絡先は下記)

○特典：希望者には土木学会CPD単位が発行されます(申請中)

○申込方法：下記申し込みフォームより参加登録をお願いいたします

<https://forms.gle/WQ1KWXsPcNX4H7C68>



※定員に達し次第、申込締切とさせていただきますのでご注意ください

○申込期限：11月14日(月)

○連絡先：〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1 茨城大学工学部

土木学会関東支部事務局 担当：曾我部まで

TEL / FAX:0294-38-5160 E-mail: sogabe.natsumi.0123@gmail.com